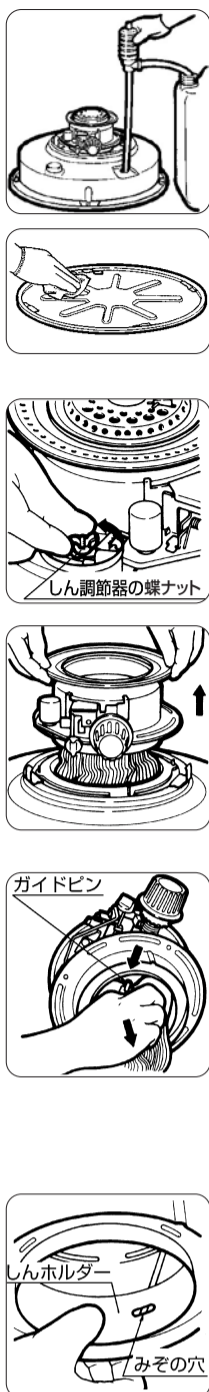


適合する機器の型式表の参照③の機種

- 油タンク側面の電池ケースを半分程まっすぐ持ち上げて取りはずし、乾電池を取り出してください。
- セットつまみを「●」印方向(↑)に回して、対震自動消火装置を作動させてください。
- 本体と油タンクの接合部の体止めねじ3本を取りはずしてください。
- 本体をゆっくり持ち上げて取りはずしてください。



- 給油口ふたを取りはずし、市販の給油ポンプの吸込側を油タンクに差し込んで、油タンク内の灯油を抜き取ってください。残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。置台のほごり、ごみを取りのぞいてください。
- しん調節器の蝶ナット3本を取りはずし、しん調節器を上持ち上げて取りはずしてください。
- 古いしんを四つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。しんホルダーを変形させないように注意してください。
- しん調節器内側のみその穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。

- 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみその穴に、しんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。しんホルダーを変形させないように注意してください。

お願い
この時しんホルダーの上下を間違えないでください。

- しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分に近づけてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動した時に、しんが下がらないことがあります。

- しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。しん調節器パッキンの表示(ウエ)位置を合わせて取りつけてください。

- しんの下部を広げ、油タンクとしん調節器にしんをなつかせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。

お願い
しんのほつれや、糸が油タンク外に出ないように注意してください。

- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット3本で均等に締めてください。1箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒ののる面)の高さが揃っていることを確認してください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

- セットつまみを「○」印方向(↻)に回して、対震自動消火装置をセットし、しん調節つまみを右(→)に止まるまで回して、しんを上げてください。

- しんを「↑」方向に回して対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がることを2~3回確認してください。しんの上下がスムーズでない場合は、しんのなつかせかたが悪いからです。もう一度10項からやりなおしてください。

- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット3本または4本で均等に締めてください。1箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒ののる面)の高さが揃っていることを確認してください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

- 新しいしんを軽く4つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみその穴に、しんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。

- しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置を作動した時に、しんが下がらないことがあります。

- しん調節器のパッキンが、油タンクの溝に確実に入っていることを確認してください。しん調節器パッキンに表示されている「ウエ」を上向きに作りつけてください。

- しんの下部を広げて、しんをなつかせるために、油タンクにしん調節器を、前後左右にゆすりながらしん調節器をはめ込んでください。

- しんの下部を広げて、しんをなつかせるために、油タンクにしん調節器を、前後左右にゆすりながらしん調節器をはめ込んでください。

お願い
しんのほつれや、糸が油タンクからはみ出さないように注意してください。

適合する機器の型式表の参照④の機種

- 油タンク側面の電池ケースを半分程まっすぐ持ち上げて取りはずし、乾電池を取り出してください。
- 対震自動消火装置を作動させてください。
- 炎筒と油タンクの接合部の体止めねじ3本を取りはずしてください。
- 炎筒をゆっくり持ち上げて取りはずしてください。

- しんを最大に上げた時、しんの高さは標準(でるつまみの①の穴)に固定ピン(約8mm)の高さを入れてください。しんが約8mmの高さに均等に揃っていることを確認してください。しん先端の糸のほつれ等は、はさみで取り除き、きれいに整理してください。10ページの横のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。

- 炎筒をかぶせ、燃焼筒を正しくしん調節器の上のせて、体止めねじ3本で固定してください。

- 燃焼筒つまみを軽く左右に2~3回かし、燃焼筒が正しくしん調節器にセットされているか、しんの上のっていないかを必ず確かめてください。

- 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。乾電池の入れ方が⊕逆ですと、点火できなったり、点火しにくくなります。電池ケースを元通りに油タンクにセットしてください。

- 油タンクに満量まで給油してから20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

- しんを最大に上げたとき、しんの高さは次のとおりです。

HH-A-7 7(N) 7A	約8mm
HH-216 S21 S235E S23E S237E S219E 210 21M 2124 KTH-E219E 210	約9mm

- しんの高さが均等に揃っていることを確かめてください。しん先端の糸のほつれ等ははさみで取り除き、きれいに整理してください。10ページのしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。

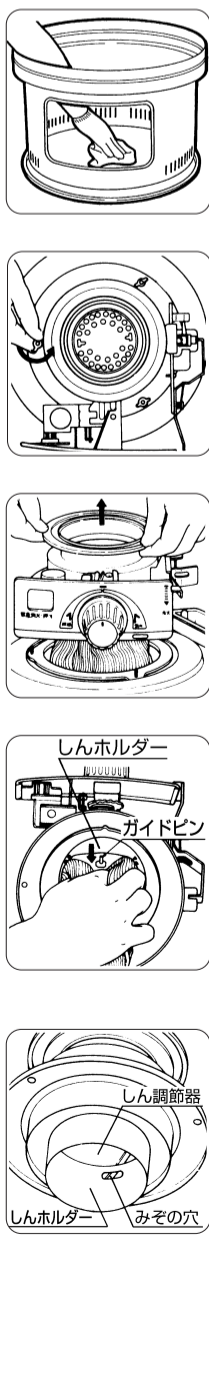
- 電池ケースに、コード(2本)をカチッと音がするまで差し込んでください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

- 油タンクに満量まで給油してから20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてからしん調節つまみを回してしんを上下させ、点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

しん高さ確認ゲージ
しんの高さを計るときは破線の部分で切り取ってください。

適合する機器の型式表の参照⑤の機種

- 反射板、上面板を取りはずしてください。乾電池を、電池ケースから取りはずしてください。
- 燃焼筒を取り出してください。
- しん調節器の上部を持って、左に回してから持ち上げ、油タンクを取り出します。
- 電池ケースに差し込んである(2箇所)コードを引き抜いてください。
- 給油口ふたを取りはずし、市販の給油ポンプの吸込側を油タンクに差し込んで、油タンク内の灯油を抜き取ってください。



- 残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。置台のほごり、ごみを取りのぞいてください。
- しん調節器の蝶ナット3本または4本を、はずしてください。
- しん調節器を上方へ持ち上げて、取りはずしてください。
- 古いしんを4つ折りにするようにして、3箇所のガイドピンをしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。
- しん調節器内側のみその穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。

- 新しいしんを軽く4つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみその穴に、しんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。

お願い
この時しんホルダーの上下を間違えないでください。

- しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置を作動した時に、しんが下がらないことがあります。

- しん調節器のパッキンが、油タンクの溝に確実に入っていることを確認してください。しん調節器パッキンに表示されている「ウエ」を上向きに作りつけてください。

- しんの下部を広げて、しんをなつかせるために、油タンクにしん調節器を、前後左右にゆすりながらしん調節器をはめ込んでください。

お願い
しんのほつれや、糸が油タンクからはみ出さないように注意してください。